

1. 件名：OECD/NEA WGHOF会合に関する打合せ
2. 日時：令和5年2月7日（火）10時00分～10時55分
3. 場所：原子力規制庁5階 国際室会議室
4. 出席者：  
原子力規制庁  
長官官房 技術基盤グループ シビアアクシデント部門  
高田技術研究調査官  
原子力規制部 検査グループ専門検査部門  
新岡原子力専門検査官  
一般社団法人原子力安全推進協会 2名
5. 要旨：
  - 経済協力開発機構／原子力機関（OECD/NEA）の原子力施設安全委員（CSNI）に属する人的組織的要因ワーキンググループ（Working group on human and organizational Factors、以下「WGHOF」という。）のCSNI活動提案書（CSNI Activity Proposal Sheet、以下「CAPS」という。）について、相互理解を図るために一般社団法人原子力安全推進協会（以下「JANSI」という。）と打合せを行った。
  - 具体的には、WGHOFのCAPSの一つである事象分析プロセスから人的組織的要因を特定する調査官のための良好事例（Good practices for investigators on identifying human and organizational factor (HOF) issues from event analysis processes）で行っているアンケート調査について、原子力規制庁の参画状況を説明するとともに、JANSIの参加の体制や提出時期について説明を受けた。
  - 原子力規制庁とJANSIは、上記のCAPSのアンケート調査について、それぞれで対応し、提出することを共有した。
6. 配付資料：  
なし